



## 全労済「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」説明会を開催

全労済福井県本部では、10月13日（木）および14日（金）の午後6時30分から、それぞれ福井県国際交流会館〔嶺北会場〕およびプラザ萬象〔嶺南会場〕にて「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」説明会を開催しました。

今回の説明会は、経営委員および各地区推進委員会幹事選出団体役員を対象に開催し、27団体38名（嶺北会場：20団体29名、嶺南会場：7団体9名）の方々に参加していただきました。

今年3月に発生した東日本大震災が甚大な被害をもたらしたことによって、組合員の生命や安全確保を最優先する防災・減災の必要性が再認識されています。その中で、「住まいと暮らしの防災・保障点検運動」は、「防災・減災」と「住宅・家財・地震保障の利用促進」を展開し、組合員・生活者の生活に貢献していく運動としての取り組みの徹底により、全労済の労働者共済運動の更なる深化と「住まいの保障分野」の加入拡大をはかっていくものです。

この説明会を契機に、各協力団体へは具体的な取り組み提案をいたしますので、今後とも全労済に対するご理解とご協力をよろしくお願いします。



会場風景

### 県民せいきょう

## くらしのお役立ち情報

県民せいきょうでは、買物支援として、「ミニハーツ便」「夕食宅配」「買物代行」などの生活支援サービスを展開しています。ぜひご紹介ください。

### ハーツ便

軽トラック導入できめ細やかなサービスをめざします

10月より軽トラック版の「ハーツ便」が2台新登場！鯖江市（ハーツさばえ周辺地域）や福井市（ハーツ学園周辺地域）を中心に、運行します。小さなトラックでご自宅の前までお伺いしますので、お一人でもご利用いただくことができます。まずは、お気軽にお問い合わせください。

対象エリア  
福井市・鯖江市  
(一部の地域を除きます)



軽トラック版「ハーツ便」では、生鮮品（肉・魚・野菜・果物）のほか、薬品、菓子など約300品の商品をお届けします。

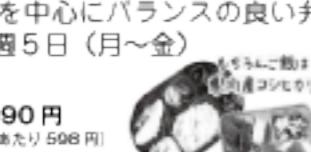
### 夕食宅配

10月より小浜市内ごもサービス開始

地元産の素材を中心にバランスの良い弁当を日替わりで週5日（月～金）お届けします。

2,990円

（一食あたり 598円）



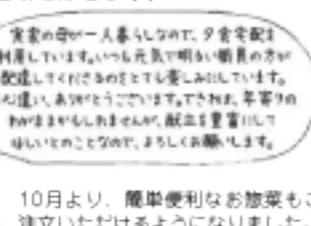
★容器はレンジ対応です

★魚の骨を取り除いたり、肉に切れ目を入れるなど高齢者やお子さんにも食べやすい工夫をしています

お届け時にご利用者の容姿を確認し、

ご家族にメールでお知らせします。

対象エリア  
福井市・鯖江市・越前市・敦賀市・小浜市  
(一部の地域を除きます)



食事の毎日一人暮らしの、夕食宅配を利用している人も元気で明るい顔見の方で配送してくれるのでとても嬉しいです。お手頃な料金で美味しいお弁当が届いて嬉しいです。お手頃な料金で美味しいお弁当が届いて嬉しいです。

10月より、簡単便利なお惣菜もご注文いただけるようになりました。

### 買い物代行

ご利用金額3,000円以上で手数料無料！

事前に電話注文いただいた商品をハーツ各店からご自宅までお届けします。（月～金：時間指定はできません。）

手数料 1回 200円 支払い方法 現金引き換え

10:00～12:00までに 12:00～18:00までに  
電話注文をいただいた場合 電話注文をいただいた場合

当日午後お届けします

翌日午後お届けします

対象エリア  
坂井市・福井市・鯖江市・越前市・敦賀市  
(一部の地域を除きます)



生鮮品からお米や飲料などの重いものまで、何でもOK！ご指示いただければ、重い荷物はお迎面までお持ちしますよ。右の写真はお米を米びつに入れるお手伝いの様子。

サービス利用についてのお問い合わせは県民せいきょうコールセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

◎コールセンター………0120-016-165

◎携帯・IP電話からは………0570-016-165

（受付時間） 月～金 …… 8:30～21:00 土 …… 9:00～18:00

## 第61回 福井県労働者美術展（9月29日～10月2日）

# 感性あふれ表現力豊かな力作がズラリ！

（主催：福井県労働者福祉基金協会・福井県・福井県労働者福祉協議会）



◎厚生労働大臣賞（絵画）  
人物や風景を用いた作品が多くあり、料・技法で個性が表現されていた。特に人物や風景を用いた作品が多くあり、

色彩・水彩・岩絵の具・墨・アクリル・パステル・鉛筆・紙等の表現材のテーマに沿って取り組み苦勞し感性の影の色違いが心憎く見る人の心を引き付ける佳作です。

【絵画部】 厚生労働大臣賞  
「万華鏡」 清水 明氏

【絵画部】 厚生労働大臣賞  
「白居易詩一首」 伊原 龍苑氏

◎厚生労働大臣賞（書道）  
間に、茶碗でお茶のみ、宇宙を逍遙

浮かんできたことでした。勤労の合い間に、茶碗でお茶のみ、宇宙を逍遙し、また忙しさの中へ飛び込んでいく心のゆとりと同じ一時をもつて、毎日がんばつておられることでしょ

【写真部】 厚生労働大臣賞  
「読書」 高木 美栄子氏

◎厚生労働大臣賞（写真）  
応募作品に囲まれると、どの作品も被写体への鋭い視線が感じられました。

線を引きしめて、一本一本丁寧に線を引きしめて、一本一本丁寧に終始一貫ゆるぎない。敬意を表します。

【写真部】 厚生労働大臣賞  
「白居易詩一首」 伊原 龍苑氏

◎厚生労働大臣賞（写真）

タテかヨコ位置が瞬く間に

見方を考え

させられる作品。子供はこんな所でも平気で本を読むということに加え、見る側を納得させる視界の面白さがあります。右側を大きく入れた構図も申し込みで、スマップショットが諸事情で難しくなった中で、自然、風

景の中から視点のおもしろさを追求しておられるようと思え、大変好感がもてました。コツコツと刻した印も存在感があり、充実した臨書作品も出品されて、数文字を静かに丁寧に線を引かれたものもあり、フツと「茶湯一碗、逍遙亦也」（空海『性雲集』）の句が

今年も「あなたが創るあなたの世界を！」をテーマに、福井県立美術館に於いて平成二十三年九月二十九日（木）～十月二日（日）までの四日間の日程で福井県労働者美術展が開催されました。

作品は絵画・書道・写真の三部門で、総数二八四点。（絵画の部一七点、書道の部七四点、写真の部九点）。出展作品は、各部門特有のスタイルで感性あふれる多彩な表現を織り成す作品ばかりで、鑑賞に訪れる人達は、一つひとつ的作品に魅了していました。（四日間の入場者数一〇〇二名）。最終日の十月二日は、厚生労働大臣賞をはじめとする各賞の表彰が行われました。各部門の講評（厚生労働大臣賞含む）は次の通りです。

### 各部門の講評

中部労福協研究集会



## 2011年度 中部労福協研究集会 一報告一

2011年度「中部労福協研究集会」は10月20日（木）～21日（金）、京都市において開催され、労福協中部ブロック（12府県）の福祉事業各団体等から52名の参加がありました。（講演3部構成）

初日の講演Ⅰ「生活保護『改革』ここが問題だ！」では、「生活保護受給者の中には、非正規労働者の増加と景気の悪化などが主な原因で、再就職したくても出来ない人達がいる。現在、保護制度の見直しに向けた厚労省と地方自治体の協議の中で、稼動可能層（働ける人）には就労支援施策の充実が議論になっているが、期限付き支援プログラム（有期保護に繋がる）や医療扶助の一時自己負担導入など、給付抑制に主眼が置かれている。財政対策重視の排除の論理ではなく、生活実態や就労の権利保障を主軸においた制度の改革こそが必要ではないか」と提起されました。

講演Ⅱでは、NPO法人京都歴史地理同考会理事長 中村武生氏の「京の歴史を掘り起こす」をテーマに、聚楽城周辺・連なる屋敷等について講じていただきました。翌日は講演Ⅲ同志社大学経済学部教授 山森亮氏から「ベーシック・インカムとは～その思想と論点」というテーマで「ベーシック・インカムとは、全ての個人を対象に、生活に足りるだろう所得を無条件で給付するという考え方である。その思想と論点」について詳しく講演を行っていただき、研究集会を終了しました。